

## 対馬保健所管内における感染症情報

令和6年 第15週（4月8日～4月14日）

## 1. 定点把握対象疾患

発生状況	疾患名	定点当たり（人）		定点医療機関からの報告数				発生年代等
		前週 (14週)	今週 (15週)	対馬 病院	上対馬 病院	豊玉 診療所	報告 合計	
	(季節性)インフルエンザ	1.00	-	0	0	0	0	
減少↓	新型コロナウイルス感染症	23.67	14.33	26	5	12	43	10歳未満：10名 10歳代：1名 20歳代：0名 30歳代：4名 40歳代：7名 50歳代：5名 60歳代：6名 70歳代：3名 80歳以上：7名
	RSウイルス感染症	0.50	1.00	2	0		2	6～11か月：2名
	咽頭結膜熱	-	-	0	0		0	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	1.50	3	0		3	2歳：1名 8歳：1名 20歳代：1名
	感染性胃腸炎	-	-	0	0		0	
	水痘	-	-	0	0		0	
	手足口病	-	-	0	0		0	
	伝染性紅斑（リンゴ病）	-	-	0	0		0	
	突発性発しん	-	-	0	0		0	
	ヘルパンギーナ	-	-	0	0		0	
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	-	-	0	0		0	
	細菌性髄膜炎	-	-	0			0	*基幹定点
	無菌性髄膜炎	-	-	0			0	*基幹定点
	マイコプラズマ肺炎	-	-	0			0	*基幹定点
	クラミジア肺炎【オウム病は除く】	-	-	0			0	*基幹定点
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	-	-	0			0	*基幹定点

## 2. 全数把握対象疾患

- ・結核（二類感染症） 1件

## 3. トピックス、季節情報

## ★A群溶血性レンサ球菌咽頭炎★

A群溶血性レンサ球菌による上気道感染症で、県内で報告数が増えています。

主な症状は、発熱、咽頭痛、咽頭発赤、莓舌で、潜伏期は2～5日です。飛沫感染のため、手洗い・うがいを行い予防しましょう。

## ★ダニ媒介感染症★

マダニ等の活動が活発になる4月から患者の報告数が増加します。

野外で活動する際は、長袖、長ズボン、長靴を着用するなどして肌の露出を極力避けて、感染防止に心がけましょう。

もし、マダニ等に咬まれていたことに気づいた場合、無理に取り除こうとせず、皮膚科等の医療機関で適切に処置してもらいましょう。

また、咬まれた後に発熱等の症状があった場合は、速やかに医療機関を受診しましょう。

**「ダニ」にご注意ください**

山や草むらでの野外活動の際は、ダニに注意しましょう

春から秋にかけてキャンプ、ハイキング、農作業など、山や草むらで活動する機会が多くなる季節です。  
野山に生息するダニに咬まれることで  
**重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つつが虫病、ライム病**などに感染することがあります。

**ダニに咬まれないためのポイント！**

- 肌の露出を少なくする  
⇒帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等
- 長袖・長ズボン・登山用スパッツ等を着用する  
⇒シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中
- 足を完全に覆う靴を履く  
⇒サンダル等は避ける
- 明るい色の服を着る（マダニを目視で確認しやすくするため）  
\* 上着や作業着は家の中に持ち込まないようにしましょう  
\* 野外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認をしましょう  
特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）などに注意

**ダニに咬まれたときの対処法**

- 無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置（マダニの除去、洗浄など）をしてもらいましょう。
- マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けて下さい。

【受診時に医師に伝えること】  
①野外活動の日付け、②場所、③発症前の行動

ダニ媒介感染症（厚生労働省）  
各地域のダニ媒介感染症の状況については各自自治体HPも参考にしてください

平成29年4月